

## 認可外保育園を利用する乳幼児の処遇改善を求める意見書

日頃より、私たち糸満市議会に対しご理解、ご支援をいただき熱く御礼申し上げます。

さて、昨年11月23日に開催されました「第1回沖縄県認可外保育園園長サミット」において、以下「4つの政策提言」が決議されました。

戦後27年間の米軍統治下による認可保育所整備のおくれを、現在でも認可外保育園が下支えしている沖縄県。その多くの乳幼児が本来なら「公的な保育」を受ける権利を有することから、保育行政のおくれにより強いられる保育格差を補完するために、沖縄県の保育現場の実態に即した下記政策の実現を強く要望いたします。

### 記

- 1 沖縄県においては本来公的な中で保育されるべき乳幼児への格差なき公的な保育を保障するため、保育士処遇改善策（4パーセント賃上げ策）を認可外保育園にも適用すること。
- 2 沖縄県においては戦後おこなわれている整備の補完と、保育環境の質を最低限保障できずにいる全国一多い認可外保育園の活用を目的とした「準認可園(仮)」もしくは「認可保育園B型(仮)」の新制度導入すること。
- 3 沖縄県においては市町村への指導を行える県の強いリーダーシップが急務であり、無用の衝突が起こっている市町村窓口で格差の出ないような新たなシステム（会議体、仕組みづくり）を確立すること。
- 4 沖縄県においては少なくとも保育所整備が完了するまでの行政の公的責任を認識し、「沖縄県の実情に即した支援策」を認可外保育園の実態把握に伴い認可外保育園の乳幼児も対象に行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成29年6月27日

糸 満 市 議 会

あて先：沖縄県知事

## 認可外保育園を利用する乳幼児の処遇改善を求める要請決議

日頃より、私たち糸満市議会に対しご理解、ご支援をいただき熱く御礼申し上げます。

さて、昨年11月23日に開催されました「第1回沖縄県認可外保育園園長サミット」において、以下「4つの政策提言」が決議されました。

戦後27年間の米軍統治下による認可保育所整備のおくれを、現在でも認可外保育園が下支えしている沖縄県。その多くの乳幼児が本来なら「公的な保育」を受ける権利を有することから、保育行政のおくれにより強いられる保育格差を補完するために、沖縄県の保育現場の実態に即した下記政策の実現を強く要望いたします。

### 記

- 1 沖縄県においては本来公的な中で保育されるべき乳幼児への格差なき公的な保育を保障するため、保育士処遇改善策（4パーセント賃上げ策）を認可外保育園にも適用すること。
- 2 沖縄県においては戦後おこなわれている整備の補完と、保育環境の質を最低限保障できずにいる全国一多い認可外保育園の活用を目的とした「準認可園(仮)」もしくは「認可保育園B型(仮)」の新制度導入すること。
- 3 沖縄県においては市町村への指導を行える県の強いリーダーシップが急務であり、無用の衝突が起こっている市町村窓口で格差の出ないような新たなシステム（会議体、仕組みづくり）を確立すること。
- 4 沖縄県においては少なくとも保育所整備が完了するまでの行政の公的責任を認識し、「沖縄県の実情に即した支援策」を認可外保育園の実態把握に伴い認可外保育園の乳幼児も対象に行うこと。

上記のとおり決議する。

平成29年6月27日

糸 満 市 議 会

あて先：沖縄県議会議長